



学校だより

北海道中札内高等養護学校幕別分校
令和8年7月21日(火)
第 3 号
〒089-0615 中川郡幕別町南町 81 番地 1
電話 0155-55-2121
FAX 0155-55-2122

「夏休みの思い出」

校長 佐藤 貴雄

函館生まれの私にとって夏はそんなに暑いものという記憶はありませんでした。そんな中の、数少ない暑い記憶のお話です。

初めて制服の袖を通した年の夏休み直前のことです。ずっと顔を突き合わせている友達と「夏休みに何する？」という話で盛り上がりました。経緯は覚えてはいませんが、ちょっとした冒険心が後押しし「キャンプに行こう！」と決定。スマホもインターネットもない時代。行き先を決めるのにも一苦労。親や先生方に聞いたり、図書館で調べたりと悪戦苦闘の日々でした。

そんな時、小学校時代の恩師から「水無海浜キャンプ場」の話を聞きました。満潮時には入浴できないという風変わりな海岸にある露天の温泉、水無海浜温泉に隣接する無料キャンプ場でした。キャンプをしながら、その変わった温泉に入浴できるという、なんとも子ども心をくすぐるシチュエーションで速攻決定、準備をし、当日を迎えました。

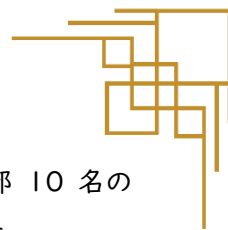
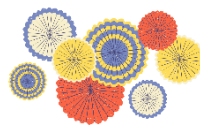
道中すごく暑かったことを覚えています。荷物を手分けして持ち、汗だくになりながら歩いたこと、テントの中もものすごく暑かったこと、水の分量を間違えた「しゃばしゃばカレー」が美味しかったことなどなど、断片的に覚えています。

夜も更け、焚火も消え、何もすることがなくなった私たち。海辺の温泉まで降りていくことにしました。暗闇の中、浜辺までたどり着くと、星だけで明るい夜空と、見たことのない不思議な色をした海がありました。そんな景色に囲まれながら、いろいろな話をしたこの経験、一生忘れることはないでしょう。

いよいよ夏休みです。普段はできないようなことに挑戦できるのが夏休みです。何か一つでもいい、ずっと心の中で大切にできる思い出を作ってみてください。何か新しい事をする、経験するということは自分の心のキャンバスに色を付けること、未来を描くことです。その経験から人生が変わるかもしれません。スマホを見て一日を終える、それだけはしないようにしましょう。時間は有限です。大切にしてください。夏休み明け、思い出いっぱいの皆さんに会うことを楽しみにしています。

保護者等の皆様におかれましては、今学期の本校の教育活動に御理解と御協力をいただき誠にありがとうございました。いよいよ夏季休業が始まります。この時期の経験というものは生涯にわたっての良き財産、良き思い出となり得ます。ぜひ、様々なことに挑戦させてあげてください。御協力をお願いいたします。そして夏季休業明けも変わらぬ御支援をよろしくお願い申し上げます。

学校祭 2026



第14回星華祭（学校祭）を7月3日（金）、4日（土）に行いました。

今年のテーマは「青春開花～仲間と刻む最高の1ページ～」！生徒会執行部 10 名の生徒を筆頭に、全校生徒 44 名と教職員が一丸となって準備を進めてきました。

1 日目は、「曲あてクイズ」や「リーダー探し」などのレクリエーションの後に、焼肉パーティーを楽しみました。

2 日目の一般公開は、学年ごとの特色が生かされたステージ発表や、日頃の学習の成果を発揮する作業体験会など、生徒一人一人が主役となって活躍しました。保護者等の皆様や地域の皆様からの、温かい拍手や励ましの言葉は、生徒達にとって大きな自信と励みになりました。

また、キッチンカーの出店や模擬店の商品提供など、地域の皆様に多くの御協力を頂き、学校と地域が一体となって学校祭を盛り上げることができました。心より感謝申し上げます。

生徒達からは「お客さんに喜んでもらえた。」「みんなが盛り上がってくれた。」「ほぼ満席で、笑ってくれた人が多くて嬉しかった。」「作業体験にたくさん来てくれて嬉しかった。」など、やりがいや達成感を感じたという感想が多く聞かれました。

学校祭で培った協力する力や挑戦する気持ちを、これからの学校生活や学習活動につなげ、一人一人がさらに成長できるよう教育活動を進めてまいります。今後とも本校の教育活動への御理解と御支援をよろしくお願いいたします。

